

2017年3月期 第3四半期決算 要旨
連結損益計算書 (要約)

(億円)	2016年3月期		2017年3月期			
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	前年 同期比	11/2修正 通期計画	前期比
売上高	2,450	3,479	2,857	+17%	3,730	+7%
営業利益	121	176	350	+189%	280	+59%
経常利益	126	164	353	+180%	270	+65%
税引前当期純利益	112	120	430	+284%	365	+204%
親会社株主に帰属する当期純利益	64	53	365	+470%	300	+466%
1株当たり配当 (円)	20	40	20	-	40	-
1株当たり当期純利益 (円)	27.71	22.90	155.84	-	127.99	-
1株当たり純資産 (円)	1,294.99	1,257.43	1,356.30	-	-	-

<第3四半期実績>

- 売上高：2,857億円、営業利益：350億円、親会社株主に帰属する四半期純利益：365億円
- 各事業において複数の大型タイトルの販売が集中したことから、前年同期比で増収、増益

各種費用等の実績

(億円)	2016年3月期		2017年3月期			
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	前年 同期比	11/2修正 通期計画	前期比
研究開発費・コンテンツ制作費	403	580	488	+21%	649	+12%
設備投資額	210	280	208	-1%	284	+1%
減価償却費	125	166	120	-4%	151	-9%
広告宣伝費	136	179	112	-18%	161	-10%

連結貸借対照表 (要約)

【資産の部】				【負債・純資産の部】			
科目	前期末	当第3四半期末	増減	科目	前期末	当第3四半期末	増減
流動資産	3,022	3,185	+163	流動負債	1,059	1,019	-40
固定資産	2,306	2,151	-155	固定負債	1,270	1,101	-169
				負債合計	2,330	2,121	-209
				純資産合計	2,999	3,214	+215
資産合計	5,329	5,336	+7	負債及び純資産合計	5,329	5,336	+7

科目	前期末	当第3四半期末	増減
自己資本比率	55.3%	59.6%	+4.3pt
流動比率	285.2%	312.3%	+27.1pt

- 総資産：7億円増加の5,336億円
- 流動資産：有価証券（短期運用）の増加により、163億円増加
- 固定資産：有形固定資産及び投資有価証券の減少により、155億円減少
- 自己資本比率：4.3ポイント上昇の59.6%
- 流動比率：27.1ポイント上昇の312.3%（前期末 流動比率：285.2%）

遊技機事業

(億円)	2016年3月期		2017年3月期			
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	前年 同期比	11/2修正 通期計画	前期比
売上高	967	1,410	1,197	+24%	1,535	+9%
内訳						
パチスロ	527	611	700	+33%	920	+51%
パチンコ	340	668	396	+16%	460	-31%
その他/消去等	100	131	101	-	155	-
営業利益	150	209	258	+72%	270	+29%
営業利益率	15.5%	14.8%	21.6%	+6.1pt	17.6%	+2.8pt
パチスロ販売台数 (台)	121,645	142,337	169,827	+40%	236,000	+66%
パチンコ販売台数 (台)	115,396	199,014	111,104	-4%	132,000	-34%

※2017年3月期よりエンタテインメントコンテンツ事業に含まれていた一部事業を遊技機事業に移管しており、2016年3月期実績につきましては遡及処理の内容を反映させております。

<第3四半期実績>
【全体】

- パチスロ・パチンコ共に主カタイトルをはじめ、複数タイトルを販売し、前年同期比で増収、増益
- 部材リユースをはじめとした原価改善や開発費を中心とした販管費の減少により収益性が改善したことから、利益面では通期修正計画に対して堅調に推移

【パチスロ】

- 主カタイトル『**北斗の拳**』シリーズの新作『**パチスロ北斗の拳 修羅の国篇**』等の複数タイトルを販売し、前年同期比で販売台数が増加

【パチンコ】

- 前作同様に『**モンスターハンター**』の世界観を再現した『**ぱちんこCRモンスターハンター4**』や、人気の前作をより遊びやすいスペックへと変更した『**ぱちんこCR真・北斗無双2 1 9 Ver.**』等の販売をおこない、前年同期並みの販売台数となる

<通期見通し>
【全体】

- パチスロは新作を中心に、複数タイトルの販売を予定
- パチンコは大型タイトルの販売予定はなく、スペック替え中心の販売を予定

【パチスロ】

- 株式会社サンセイアールアンドディとサミー株式会社がコラボレートした『**パチスロ牙狼-守りし者-**』や、人気を博した『**パチスロエウレカセブン**』シリーズの続編『**パチスロエウレカセブンAO**』等複数タイトルの販売を予定
- 主な販売タイトル：『**パチスロエウレカセブンAO**』、『**パチスロ牙狼-守りし者-**』等

【パチンコ】

- 前作のゲーム性を一新した『**ぱちんこCR真・北斗無双 夢幻闘乱**』や好評を博した前作を遊びやすいスペックに変更した『**デジハネCRスーパーロボット大戦OG**』等の複数タイトルの販売を予定
- 主な販売タイトル：『**ぱちんこCR真・北斗無双 夢幻闘乱**』、『**デジハネCRスーパーロボット大戦OG**』等

エンタテインメントコンテンツ事業

(億円)	2016年3月期		2017年3月期			
	第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	前年 同期比	11/2修正 通期計画	前期比
売上高	1,366	1,905	1,554	+14%	2,050	+8%
内訳						
デジタルゲーム	330	456	350	+6%	470	+3%
パッケージゲーム	289	423	373	+29%	470	+11%
AM機器	298	419	374	+26%	495	+18%
AM施設	282	380	279	-1%	370	-3%
映像・玩具	157	212	165	+5%	235	+11%
その他/消去等	10	15	13	-	10	-
営業利益	28	42	153	+446%	95	+126%
内訳						
デジタルゲーム	-1	-4	53	-	48	-
パッケージゲーム	5	24	42	+740%	27	+13%
AM機器	-1	-1	33	-	3	-
AM施設	19	18	23	+21%	20	+11%
映像・玩具	7	6	10	+43%	10	+67%
その他/消去等	-1	-1	-8	-	-13	-
営業利益率	2.0%	2.2%	9.8%	+7.8pt	4.6%	+2.4pt
パッケージ販売本数(万本)	612	922	813	+33%	1,030	+12%
国内AM施設既存店売上高前年比	101.7%	103.1%	110.3%	+8.6pt	108.6%	+5.5pt
国内AM施設店舗数	198	194	190	-	190	-

※2017年3月期よりエンタテインメントコンテンツ事業に含まれていた一部事業を遊技機事業に移管しており、2016年3月期実績につきましては遡及処理の内容を反映させております。

<第3四半期実績>

【全体】

- デジタルゲーム分野において既存主カタイトルが堅調に推移した他、パッケージゲーム、アミューズメント機器分野において、大型タイトルの販売が集中したことから好調に推移
- 前年同期と比べて大幅に収益改善

【デジタルゲーム】

- 『ファンタジースターオンライン2』、『オルタンシア・サーガ-蒼の騎士団-』等の既存主カタイトルを中心に堅調に推移
- AM機器のIPを様々なデバイスで提供し顧客接点の最大化を目指す『マルチデバイス×ワンサービス』の取り組みとして、『SOUL REVERSE』シリーズ第1弾『SOUL REVERSE ZERO』をスマートデバイス向けにリリース

【パッケージゲーム】

- 『Football Manager』シリーズの新作『Football Manager 2017』(11月)や『龍が如く』シリーズの新作『龍が如く6 命の詩。』(12月)等の大型タイトルの販売が集中
- 販売本数は前年同期を上回る**813万本**

【AM機器】

- 人気トレーディングカードゲームの新作『三国志大戦』の販売が堅調に推移
- 『艦これアーケード』の継続的な収益貢献や『UFOキャッチャー9』の販売が堅調に推移
- カジノ機器開発や販売に向けた先行費用が発生
- 新作カジノ機器『エキサイティング・バカラ』がマカオ市場にて稼働開始

【AM施設】

- 施設稼働は既存店売上高昨年度対比**110.3%**と好調に推移
- 品揃えや施設オペレーション強化に伴い、プライズが好調に推移
- 『艦これアーケード』を中心としたビデオゲーム稼働が堅調に推移
- 改正風営法施行により、施設稼働が向上

【映像・玩具】

- 劇場版『名探偵コナン 純黒の悪夢(ナイトメア)』が中国で公開
- 『リルリルフェアリアル〜妖精のドア〜』や『こねこのチー ポンポンらー大冒険』等のアニメ放送を実施
- 『ぶに♡ジェル ゆめぶにアクセ DX』等の新製品を販売

エンタテインメントコンテンツ事業

<通期見通し>

【全体】

- デジタルゲーム分野において、国内既存タイトル中心に展開するものの、今期投入した新作タイトルの稼働状況の見極めが必要
- パッケージゲーム分野、アミューズメント機器分野において大型タイトルの販売予定なし

【デジタルゲーム】

- 国内の既存主力タイトルによる収益貢献を見込む
 - ・『**オルタンシア・サーガ-蒼の騎士団-**』の最新アップデート第三部を配信
 - ・『**ファンタシースターオンライン2**』、『**ぷよぷよ!!クエスト**』、『**チェインクロニクル3**』のイベント等を実施
- 『**マルチデバイス×ワンサービス**』の取り組みによる新作タイトル投入を予定
 - ・『**CODE OF JOKER Pocket**』、『**StarHorse Pocket**』
- 今期投入した新作タイトルの稼働状況の見極めが必要

【パッケージゲーム】

- 大型タイトルの販売なし
- 『**戦場のヴァルキュリア**』シリーズの新作『**蒼き革命のヴァルキュリア**』(1月)を発売
- Nintendo Switch™用ソフト『**ぷよぷよテトリスS**』(3月)を発売

【AM機器】

- 大型タイトルの販売なし
- 『**艦これアーケード**』等のレベニューシェアタイトルによる収益貢献を見込む
- 『**頭文字D ARCADE STAGE**』の新作『**頭文字D ARCADE STAGE Zero**』の販売を予定
- カジノ機器開発や販売に向けた先行費用が発生

【AM施設】

- 引き続きプライズを中心とした施設オペレーションの強化に取り組む
- 『**艦これアーケード**』、『**三国志大戦**』等のビデオゲームによる収益貢献により、収益性の向上を目指す
- 引き続きファミリー向けやコラボカフェ等の新業態店舗に向けた取り組みを強化

【映像・玩具】

- 新作TVアニメ『**弱虫ペダル NEW GENERATION**』や『**鬼平**』等の製作収入等を計上
- 『**アンパンマン**』シリーズや『**ぷに♡ジェル**』シリーズ等の定番・主力製品を中心に展開

リゾート事業

(億円)		2016年3月期		2017年3月期			
		第3四半期 累計実績	通期実績	第3四半期 累計実績	前年 同期比	11/2修正 通期計画	前期比
売上高		115	163	105	-9%	145	-11%
営業利益		-13	-18	-18	-	-25	-
営業利益率		-	-	-	-	-	-
フェニックス・ シーガイア・リゾート	利用者数 (千人)	424	571	393	-7%	541	-5%
	客単価 (円)	15,753	15,845	15,479	-2%	16,353	+3%
東京ジョイポリス	利用者数 (千人)	528	687	512	-3%	-	-
	客単価 (円)	3,510	3,545	3,772	+7%	-	-
オービィ横浜	利用者数 (千人)	260	323	302	+16%	356	+10%
	客単価 (円)	2,345	2,282	1,802	-23%	1,911	-16%
パラダイスカジノ仁川 ※	カジノ売上高 (10億KRW)	65	95	69	+6%	-	-
	利用者数 (千人)	36	48	39	+8%	-	-

※「パラダイスカジノ仁川」は当社持分法適用関連会社である「PARADISE SEGASAMMY Co., Ltd.」により運営、
 ※「パラダイスカジノ仁川」の数値は3ヶ月遅れで計上

<第3四半期実績>

- 『フェニックス・シーガイア・リゾート』において各種リニューアル等を実施
 ⇒各種リニューアルの実施に伴い、償却費等が増加
- 韓国・仁川のカジノ施設『パラダイスカジノ仁川』の売上高はMERS等の影響が落ち着いたことから増加

<通期見通し>

- 『フェニックス・シーガイア・リゾート』において
 ⇒引き続き各種リニューアルを実施予定（『シエラトン・グランデ・オーシャンリゾート』の42階に『レストラン アルコ』オープン）
 ⇒各種スポーツキャンプ実施等に合わせた集客施策の実施
- IR（統合型リゾート）『パラダイスシティ』2017年4月開業に取り組む

※本資料における業績見通し等の内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、経営者が判断したものであります。従って、これらの内容は
 リスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを予めご承知おき下さい。